

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を实践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1.4711E+11
法人名	社会福祉法人 百鷗
事業所名	グループホーム 葉山の里
訪問調査日	平成24年8月21日
評価確定日	平成24年10月10日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1.4711E+11	事業の開始年月日	平成15年12月1日	
		指定年月日	平成15年12月1日	
法人名	社会福祉法人 百鷗			
事業所名	グループホーム 葉山の里			
所在地	(240-0113) 神奈川県三浦郡葉山町長柄235-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	平成24年8月14日	評価結果 市町村受理日	平成24年10月19日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が持っている可能性を最大限に引き出し、その人らしい生活支援をしながら毎日を安全、安心で穏やかに過ごしなが、新鮮で美味しい食事を楽しみ、自分の言いたい事が自由に言えるような我が家です。月1回御菓子作りや季節に合った小物作りも継続して励んでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成24年8月21日	評価機関 評価決定日	平成24年10月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①ホームの経営母体は社会福祉法人百鷗で、JR逗子駅からバスで10分位の住宅地にある。社会福祉法人百鷗は地元葉山と逗子に特養葉山清寿苑、特養逗子清寿苑を中心にショート、デイ、居宅介護、そして2つのグループホームを展開し、地域福祉のネットワークを形成し、「地域に開かれた事業体として社会に貢献する」ことを理念に地域福祉の中核となっており、グループホーム葉山の里はその一翼を担っている。法人のコンセプトは「温もり、優しさ、安心、安全」であり、所長のケアの方針は「利用者さん主体の、自主的で自分らしい生活」を目指している。所長の素晴らしいところは、手芸を利用者にやって頂けるよう展開する点である。きれいな物は誰でも好き、それを自分で作れると自信が付くし、喜びも大きい。もちろん裏で型紙を作ったり、きれいな布を準備したり、カットして貼ればOKの状態に準備する努力は並大抵ではない。その努力あってこそその利用者の喜びである。出来ないと思っていた利用者が「出来た」時の喜びを考えるとこの利用者は幸せである。

②2つ目の感想(意向)ノートなどの定着と活用である。ここでは食事のアンケート、出掛けた時の感想文を全員に書いてもらっている。それこそ大きな字、数個しか書けない人から、これが本当に認知症を患う方の作文かと思われるものまで、まちまちではあるが、たとえば大きな字、数個であっても、その中には充分その人の「想い」が読み取れる。前提として、始めから認知症だから出来ない、書けないと云う先入観を取り外した点に所長の素晴らしいさがある。ここでは、作文のみではなく利用者は自由に自己主張されるようで、生活に張りを持って暮らしていることが良く分かる。日頃から自分で出来るようにしておくことが機能低下の防止に繋がると云う。日頃から自分で出来るようにしておくことが機能低下の防止に繋がると云う。

③職員の研修については、自らが学びたい意欲を起こさせる事と、重度化に伴う介護技術の向上への取り組みを日常のケアの中で体得してもらうようにしている。特に夜勤帯は人的に手薄な時間帯であるので、昼間の活性化を達成出来れば夜は良く寝てもらえると考え、皆と一緒に楽しく日中を過ごすよう工夫している。情報の共有化については、情報ノートの活用と、見たら必ずサインする事の徹底から、共通認識が出来る体制を推進を目指すことが、着実な成果を上げ、活気溢れるホームとなっている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 葉山の里
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体としての理念、事業所としての事業計画を作成し、より地域に密着したホームを実践している。	社会福祉法人百鷗全体として理念は、年度事業計画、より地域に密着した事業所の事業計画に必ず掲載され、入社時には必ず教育し、職員が初心を忘れないよう最低でも1年に1度は理念について再確認がされている。ホームの方針の「地域に開かれた」「利用者主体」に向けて、所長のケアの方針である「利用者さん主体の、自主的で自分らしい生活」を目指してケアを展開している。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	下町内会に加入し、月1回の定例会に参加したり、「ふれあいサロン」に出席し、昼食を囲み地域の方々との交流を図っています。	この地域は町内会活動が盛んな地域であり、町内会に加入し、月1回定例会、ふれあいサロンに出席して地域の方々との交流を図りつつ、日常的な支援を頂いている。ご近所とのつきあいを大切にしており、ご近所から使い捨てタオルを届けて頂いたり、野菜等も差し入れも頂いている。手工芸連盟が中心に行う葉山町の文化展には百鷗グループとして、このホームからも作品を出展している。長柄小学校の運動会にも招待してもらっている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回の定例会に出席し、苑の状況を話したり、支援方法を地域の皆様に説明している。今回は地域の方々の協力により、家庭での不用品（タオルやシーツ類）の回覧板の効果で大変助かっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4ヶ月に1回開催 町の職員、民生委員、家族の代表、利用者3名参加して頂きサービスの報告や活動状況、検食して頂きサービス向上に努めている。	年3回実施（活動状況、職員人事、待機者説明、面会状況、事故発生状況、稼働率）の報告を行ない、会議終了後次回の検討課題や意見を伺いサービス向上に生かしている。メンバーは民生委員（町内会代表）を中心に、町役場の職員、ご家族代表、利用者（3名）それにホーム職員で行っている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村職員とは、日頃連絡を密にして情報を共有しながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者の意見を聞いたり情報交換を行っている。社会福祉法人百鷗の展開する特養葉山清寿苑、グループホーム2つは葉山町の高齢者施設の中心であり、葉山町も頼りにしているので車の両輪のように良い関係が維持されている。空室がある時等にもご協力頂いている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアにとりくんでいます。今後も利用者、家族が安心して暮らしていける環境づくりに取り組んでいきたいです。	拘束による弊害については充分徹底され、拘束をしないケアに取り組んでいる。法人として新人研修、南関研修に取り入れ徹底している。玄関の鍵については安全のため手薄な時（事務所に人がいないとき）には施錠している場合もある。事例があれば運営推進会議にも報告し、ガラス張りの介護実例として明示もしている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないよう会議やミーティング等を利用して職員全員で学ぶ機会を持ち虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についてもっと学ぶ機会を作り活用していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族の不安や疑問を良く伺い充分な説明を行い理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族とのコミュニケーションを日頃より持って意見や要望等応えられるように努めている。	ご家族とのコミュニケーションについては、来訪時には記録を見て頂き、日頃の暮らしぶりを伝えたり、介護報告書を1ヶ月に1回送付して近況報告や身体状況をお知らせしご意見を頂いている。個人別マニュアルを作成し個人ケアを徹底している。介護報告書にはお願い事項も合わせて記載している。イベント時にはご家族は来てくれている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回経営会議やスタッフ会議を開催し、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。	毎月1回、スタッフ会議等で職員の意見を聞いている。また、毎日のミーティング等で職員からの意見や提案を出して頂くよう促している。会議では出席したら1回は必ず発言するなど、積極的な参加を促がしている。職員については、内部研修を行い、意見も聞き、法人へも報告を上げている。年に1回は面接を行うことになっている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職場環境や現状を良く聞き出し整備環境を整えたり人事考課の実施や職員が働きやすい職場環境に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受けるよう取り組んでいるが継続的には外部研修の人員確保がむずかしい状態である。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者と交流する機会を作っているが現実的には参加する機会が取れないのが現状である。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族の希望を出来る限り聞きだす努力をし、確保する為の関係に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や困っている事、要望などを気軽に話して頂けるような雰囲気作りや環境整備に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族と良く話し合い必要とする支援を見極め対応するように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時間を共有しながら食事の下ごしらえやドライブ散歩など暮らしを共にする関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら共に本人の希望を聞きながら支えていく関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで大切にしてきた馴染みの人や関係が継続できるような支援に努めている。又ホームへの面会、電話連絡等時間帯も自由にして支援している。	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、これまでの本人との関係が続けられるように、話を良く聴き支援に努めている。利用者に対しては、馴染みの人との関係が途切れないように手紙や電話のやり取りを支援し、面会時間も自由にして頂いている。近所の方もおられ、葉山に土地勘があるので違和感なく過ごして下さっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日が楽しく暮らして頂けるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて継続的な関わりを断ち切らないよう相談や支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いを伺い、出来る事から希望を叶えるように努め困難な場合は良く検討していく。	利用者の希望や意見を聴き、本人の希望を叶えるように努め、困難な場合や言葉に表せない人の場合には動作、表情、意思を汲み取り極力、その人の気持ちになって考えてあげるようにしている。利用者は「出来る」ことを前提とし、食事のアンケートを書いてもらったり、自分で作文を書いてもらったり、運営推進会議に出て発言してもらったりしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の思いや家族から、よく話を効き生活しやすい環境を整えるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を通し（レクリエーション等）で利用者の現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族の意見を聴き、ミーティングや会議等で情報を共有しながら現状に即した介護計画を作成するように心がけている。	介護計画は縦型に、アセスメント概要は左に基本的なチェック表を、右に18項目の項目を置き、常に項目別にモニタリングしやすい書式を記入し、会議等でそれぞれの意見を聞きながら、話し合いご本人や家族の意見を反映し、現状に即した介護計画を作成するよう努力している。居室担当は決めているが、清潔・整容のチェックが中心で（実務は日勤が行う）介護計画素案の提出までは担当させていない。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月1回のスタッフ会議やミーティング、必要時検討会議等で情報を共有しながら現状に即した介護計画の実践や見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に柔軟な対応が出来るサービス提供するように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々とのふれあいを大切にしてふれあいサロンに参加したりして楽しみのある生活が出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医師とのインフォームドコンセントを大切に適切な医療を受けられるよう支援している。	往診には自宅時代の主治医がそのまま来てくれている。多い人では2週間に1回の往診、平均では月1回の往診、必要に応じ連絡して往診の人、通院の人もいる。医師とのインフォームドコンセントを大切にし、医療的な必要性があれば特養へのルートも考えつつ法人のノウハウを有効活用する体制としている。かかりつけ医（往診医）は6医院あり連携を取り、良い関係づくりが出来ている。情報交換を怠らず、適切な医療を受けられるよう支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の死活の中での体調を出来る限り細分化して看護師に相談し適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族との情報交換や相談に努め、良い関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の際重度化した場合の家族の意向を伺いチーム全体で支援に取り組んでいる。又必要に応じて法人としての方針と事業所で出来ることを説明しながら月1回入退所検討委員会を開催地域関係者と共にチーム全体で支援に取り組んでいる。	重度化した場合の意向を、入所時、ご家族に伺っている。必要に応じて法人としての方針と事業所で出来る事を説明し、チーム体制で支援に取り組んでいる。月1回、法人全体で入退所検討委員会を開催し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。グループに特養を持っており、優先的扱いはできないが、医療のケアが必要な場合には特養の活用も視野に方向性を決めている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故防止に気を使い内部研修等により急変を回避できるように実践力を身につけているが定期的には行っていないし、全ての職員ではない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の訓練は定期的に行っている。地震、災害等の災害時どのように避難するか、話し合っているが具体的に避難場所まで行けなかった時の対応訓練はしていない。	地域の協力体制が絶対に必要な為、地域住民参加の防災訓練も実施している。課題として非常災害時の具体的避難場所を明確にしておく必要がある（利用者のADLも考慮して）。町内会とは防災に関する覚え書を締結している。防災に関する事務事業評価ノート（法人用）を法人に提出している。3.11以降備蓄も準備している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、対応を行うように努めている。言葉使いや接遇に対して採用時研修を受けている。言葉掛けや気配りに注意を払い誇りやプライバシーを損ねないような対応に努めている。	利用者の人格を尊重し、言葉遣いや接遇に対して、全職員で研修を受け対応に努めている。職員一人ひとりが法人の顔である事を理解し、言葉かけや気配りに注意を払い、本人の誇りやプライバシーを損ねないよう対応するように努めている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望を聞き押し付けでなくなるべく希望を叶える様な支援を働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし希望に沿った支援を行うよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たい衣類を聞いたり、季節に合ったものを選んでいく。その人らしい身だしなみやおしゃれを楽しんで頂いたり支援している。身だしなみに関心のない方には清潔さを保って頂けるような支援を心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	常に利用者の希望を聴いてメニューに取り入れています。食材を切って頂いたり、食器拭きを積極的に参加され楽しまれている。食事委員会で話し合ったり、食事アンケートを定期的実施し、好きなメニューに取り入れるよう努めている。	メニューは独自で作っていて、お食事アンケートを実施したり、食事委員会で話し合ったりしている。利用者と職員が炊事を通じ、職員と交流を深められるよう参加して頂いている。利用者の方々は、器用で、材料を見ると自然に手が動くなど主婦の経験が発揮されるようである。月1回外注食を実施し、ご利用者の好きなものを注文して頂いたりしている。外食に代えて出前を取ることもある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調を把握し、栄養面、水分量などに気を配り支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い口腔内の清潔を維持しています。個々の状況に応じた口腔ケアを行い嚥下体操等も実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で一人ひとりの排泄状況を把握している。排泄介助の際には出来る限りプライバシーに配慮して支援している。	職員は、一人ひとりの排泄状況を把握し、皮膚状態の観察や、プライバシーに配慮しながら排泄介助、声かけを行い、自立に向けた支援をしている。便座に座れば今までの生活を思い出し、緊張も緩和される。個々の排泄パターンはチェック表等で支援を行っている。尿路感染が無いよう清潔には気を遣っている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化の良い繊維質の野菜や海草等メニューに取り入れ便秘予防に努めたり水分摂取量が少なくならないよう気配りを行い便秘予防として階段運動やストレッチ、ボール回し運動等を取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時には職員と会話をしたり楽しくくつろいで入浴して頂けるよう心がけている。お風呂に入りたがらない方には、時間をずらしたり職員を替えて声かけします。又バラ風呂で気分転換して頂く様支援している。	ご利用者が楽しく寛いで入浴して頂ける様、一人ひとりに応じた支援を行っている。また、臨機応変に時間をずらしたり、翌日に入って頂く等、バラ風呂やハーブ湯等で、気分転換を図れる工夫に努めている。お花屋さんと懇意で、毎週木曜日にお花を頂いており、バラもそのとき頂くものである。基本的に、リラックスして入浴して頂ける環境作りとゆったりした気分で入浴して頂ける支援をしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は利用者により異なり、又体調によっては早く休まれる時もあります。安心して休めるように室温や空気の入替え等に心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ノート、連絡ノート、申し送りや会議等で職員全員で把握している。服薬時は複数の職員で確認し支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の利用者の意見を伺い楽しい日々を送って頂けるよう支援している。好きな事をして過ごせるような環境づくりを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所を散歩されたり、買い物ドライブ等意見を伺いながら戸外に出掛けるような支援をしている。又買い物ツアーなども取り入れている。月1回ふれあいサロンに出かけて地域の方々との交流を楽しまれている。	外出支援について、本人の希望に沿うよう行動計画を立て、近所を散歩されたり、買い物ドライブ等意見を伺いながら戸外に出掛けるような支援をしている。また、月1回の町内会主催のふれあいサロン等にも出かけている。散歩については、毎日同じコースではなく、利用者の希望に合わせコースを変えたりしている。散歩途中、花屋で季節の花を楽しんだり、コンビニでお菓子を選ぶ等、戸外を楽しめる支援をしている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持能力が異なりますが能力のある方には（コンビニ等）自ら支払いをされるなど行って頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お友達や家族、親戚の方から電話がかかってきたり、かけたりされている。手紙や葉書のやり取りもされている利用者もいる。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感や生活観を取り入れ利用者が居心地良く過ごせるような工夫に努めている。季節感を感じて頂けるように玄関入り口には季節の花々、玄関内や階段には利用者の手作り小物やタペストリー等飾り居心地の良い共用空間を作り楽しんで頂いている。	共有空間では、光の調整や自然の感性をふんだんに取り入れ一日の移り変わりを体感出きるように配慮している。また、季節感や生活感を取り入れ、利用者が居心地良く過ごせる工夫に努めている。玄関入り口には季節の花々、玄関内や階段等には、手作りの和小物やタペストリーや利用者の手作り品が飾られ、来る者にも居心地の良い共用空間を感じさせ、利用者が生活を楽しめる演出が施されている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたい時は自由にお部屋に戻られ一人の時間を大切にされている。又お話されたい方のテーブルに行かれ会話等楽しまれている。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるような使い慣れた物や好みのもの活かし生活されている。又自分の好みの物を飾ったりしている。清潔感のある環境を心がけている。	居室は、ご本人が長年使用された大切な物を居室に置き、居心地良く過ごせるよう好みのもの活かし、自分の好みのものを飾ったりしている。日当たり具合により居室の室温に注意し、遮光調整にも工夫をし、居心地良く過ごせるよう配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全で安心できる環境づくりを心がけ目の高さにお知らせメッセージを張ったり問いかけにすぐ対応できるように努力しながらなるべく自立した生活が遅れるような支援に努めています。	/	

事業所名	グループホーム 葉山の里
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体としての理念、事業所としての事業計画を作成し、より地域に密着したホームを実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	下町内会に加入し、月1回の定例会に参加したり、「ふれあいサロン」に出席し、昼食を囲み地域の方々との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回の定例会に出席し、苑の状況を話したり、支援方法を地域の皆様に説明している。今回は地域の方々の協力により、家庭での不用品（タオルやシーツ類）の回覧板の効果で大変助かっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4ヶ月に1回開催 町の職員、民生委員、家族の代表、利用者3名参加して頂きサービスの報告や活動状況、検食して頂きサービス向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村職員とは、日頃連絡を密にして情報を共有しながら協力関係を築くよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアにとりこんでいます。今後も利用者、家族が安心して暮らしていける環境づくりに取り組んでいきたいです。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないよう会議やミーティング等を利用して職員全員で学ぶ機会を持ち虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についてもっと学ぶ機会を作り活用していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族の不安や疑問を良く伺い充分な説明を行い理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族とのコミュニケーションを日頃より持って意見や要望等応えられるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回経営会議やスタッフ会議を開催し、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職場環境や現状を良く聞き出し整備環境を整えたり人事考課の実施や職員が働きやすい職場環境に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受けるよう取り組んでいるが継続的には外部研修の人員確保がむずかしい状態である。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者と交流する機会を作っているが現実的には参加する機会が取れないのが現状である。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族の希望を出来る限り聞きだす努力をし、確保する為の関係に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や困っている事、要望などを気軽に話して頂けるような雰囲気作りや環境整備に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族と良く話し合い必要とする支援を見極め対応するように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時間を共有しながら食事の下ごしらえやドライブ散歩など暮らしを共にする関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら共に本人の希望を聞きながら支えていく関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで大切にしてきた馴染みの人や関係が継続できるような支援に努めている。又ホームへの面会、電話連絡等時間帯も自由にして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日が楽しく暮らして頂けるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて継続的な関わりを断ち切らないよう相談や支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いを伺い、出来る事から希望を叶えるように努め困難な場合は良く検討していく。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の思いや家族から、よく話を効き生活しやすい環境を整えるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を通し（レクリエーション等）で利用者の現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族の意見を聴き、ミーティングや会議等で情報を共有しながら現状に即した介護計画を作成するように心がけている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月1回のスタッフ会議やミーティング、必要時検討会議等で情報を共有しながら現状に即した介護計画の実践や見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に柔軟な対応が出来るサービス提供するように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々とのふれあいを大切にしてふれあいサロンに参加したりして楽しみのある生活が出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医師とのインフォームドコンセントを大切に適切な医療が受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の死活の中での体調を出来る限り細分化して看護師に相談し適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族との情報交換や相談に努め、良い関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の際重度化した場合の家族の意向を伺いチーム全体で支援に取り組んでいる。又必要に応じて法人としての方針と事業所で出来ることを説明しながら月1回入退所検討委員会を開催地域関係者と共にチーム全体で支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故防止に気を使い内部研修等により急変を回避できるように実践力を身につけているが定期的には行っていないし、全ての職員ではない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の訓練は定期的に行っている。地震、災害等の災害時どのように避難するか、話し合っているが具体的に避難場所まで行けなかった時の対応訓練はしていない。：		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、対応を行うように努めている。言葉使いや接遇に対して採用時研修を受けている。言葉掛けや気配りに注意を払い誇りやプライバシーを損ねないような対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望を聞き押し付けでなくなるべく希望を叶える様な支援を働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし希望に沿った支援を行うよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たい衣類を聞いたり、季節に合ったものを選んでいく。その人らしい身だしなみやおしゃれを楽しんで頂いたり支援している。身だしなみに関心のない方には清潔さを保って頂けるような支援を心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	常に利用者の希望を聴いてメニューに取り入れています。食材を切って頂いたり、食器拭きを積極的に参加され楽しまれている。食事委員会で話し合ったり、食事アンケートを定期的実施し、好きなメニューに取り入れるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調を把握し、栄養面、水分量などに気を配り支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い口腔内の清潔を維持しています。個々の状況に応じた口腔ケアを行い嚥下体操等も実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で一人ひとりの排泄状況を把握している。排泄介助の際には出来る限りプライバシーに配慮して支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化の良い繊維質の野菜や海草等メニューに取り入れ便秘予防に努めたり水分摂取量が少なくならないよう気配りを行い便秘予防として階段運動やストレッチ、ボール回し運動等を取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時には職員と会話をしたり楽しくくつろいで入浴して頂けるよう心がけている。お風呂に入りたがらない方には、時間をずらしたり職員を替えて声かけします。又バラ風呂で気分転換して頂く様支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は利用者により異なり、又体調によっては早く休まれる時もあります。安心して休めるように室温や空気の入替え等に心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ノート、連絡ノート、申し送りや会議等で職員全員で把握している。服薬時は複数の職員で確認し支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の利用者の意見を伺い楽しい日々を送って頂けるよう支援している。好きな事をして過ごせるような環境づくりを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	近所を散歩されたり、買い物ドライブ等意見を伺いながら戸外に出掛けるような支援をしている。又買い物ツアーなども取り入れている。月1回ふれあいサロンに出かけて地域の方々との交流を楽しまれている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持能力が異なりますが能力のある方には（コンビニ等）自ら支払いをされるなど行って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お友達や家族、親戚の方から電話がかかってきたり、かけたりされている。手紙や葉書のやり取りもされている利用者もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感や生活観を取り入れ利用者が居心地良く過ごせるような工夫に努めている。季節感を感じて頂けるように玄関入り口には季節の花々、玄関内や階段には利用者の手作り小物やタペストリー等飾り居心地の良い共用空間を作り楽しんで頂いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたい時は自由にお部屋に戻られ一人の時間を大切にされている。又お話されたい方のテーブルに行かれ会話等楽しまれている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるような使い慣れた物や好みのもの活かし生活されている。又自分の好みの物を飾ったりしている。清潔感のある環境を心がけている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全で安心できる環境づくりを心がけ目の高さにお知らせメッセージを張ったり問いかけにすぐ対応できるように努力しながらなるべく自立した生活が遅れるような支援に努めています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム 葉山の里

作成日

平成24年8月21日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急災害時の対応訓練	緊急災害時避難方法を全ての職員が対応できるようにする。	3ヶ月に1回の避難訓練の実施を継続していく。	24年度中
2	13	外部(内部)研修への継続参加が出来ていないのが現状	継続的に研修に参加できるような体制作りや苑内での内部研修を実施していく。	年間研修計画や月1回の会議を利用して継続的に委員会を設けて実施していく。	24年度中
3	49	外出支援が少ない	なるべく利用者の希望に沿った外出支援をして行きたい。	10月の日帰りドライブを実行していないので今年度は大船フラワーセンターに利用者様たちを連れて行きたい。	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。